

こんな活動です

平成28年度総合商社を設立。2年目から保護者地域住民に株券を発行して、資金を得て、児童が仕入れから販売まですべてを計画・実践

球磨	●活動名		●関係する学校名	
	学校まるごと株式会社（起業家教育）		あさぎり町立深田小学校	
活動区分	学びによるまちづくりや地域課題解決型学習	地域人材育成	郷土学習	
	地域行事への参加・参画	ボランティア・体験活動	学校周辺環境整備	外部人材を活用した教育プログラム
統括的な地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	地域学校協働活動推進員等の数	配置人数	学校運営協議会
	0人		1人	有 無
				企業・NPO等との連携
				有 無

● 活動の概要・特徴や工夫

平成28年度「起業体験推進事業」を受け「深田よかとこ総合商社」を設立した。2年目から総合的な学習の時間を核とした株式会社の運営を始めた。保護者や地域の方々に額面500円の株221株を販売して資金110,500円を得て、児童が仕入れから販売までを計画・実施した。平成29年度、3年「深田きゅうボンキラキラ会社」は、きゅうり組合の協力を受けて星型・ハート型のきゅうりを栽培・販売した。4年「みんなの笑顔お届け会社」は、ふれあい市場で学校で摘んだお茶を販売した。5・6年「深田ライスカンパニー」は、JAくま青壮年部の指導を受けて稲刈り、この米粉を材料としたレシピを考案、ふれあい会に加工を依頼、商品化して販売した。年度末には株主総会を開いて活動報告・株主へ出資金還付・収益金活用（児童への還元）を行った。児童の創意工夫・主体的な活動・地域との連携・協働があり、また、地域の素晴らしさに気付くことができた。

● 活動の様子



1・2年生

各学年の取組に参加。3年生のお手伝いで、芋の収穫をしています。



3年生

星型・ハート型のきゅうりを収穫しています。



4年生

ふれあい市場で販売しています。



5・6年生

JA青壮年部の指導を受けて、稲刈りをしています。

● 地域学校協働活動における効果・成果

(子供)児童は深田のよさを探そうとする目が育っている。活動では常に地域の方々の指導を受けて、ものを作ることを学び体験し、主体的に創意工夫を生かして取り組んでいる。このことは、深田の人や深田のことをよく知る機会となっている。収益金を使って全校児童で「球磨川下り」体験を行うことができた。

(地域)地域の子供たちの育成に、仕事や生活で学んできたことが生かされることは、大変うれしいことである。ともに活動することで、自身の仕事をもっと学びたい、継承したいという児童が現れるかもしれない。地域にとっても、将来地域を担ってくれる児童が育ってくれることが期待できる。

(学校(教職員))本事業は「生涯にわたり、主体的に、意欲的に学び、粘り強く自己の人生を切り拓いていく力」を目標としている。取組を通して児童が主体的に意欲的に取り組む姿が見られた。地域の人を知り、その人を通して地域のことを知ることができたことは、社会で自己の人生を切り拓き、将来の深田の地域づくりに貢献する力となることを期待することができる。